

---

## 第1章 調査の目的と概要

---



## 1. 調査の目的

この調査は、次期目黒区障害者計画（令和9年度から令和14年度末まで）の策定にあたり、障害に関する手帳を所持している方及び難病患者の方、発達に関する不安や障害のある児童の保護者の方の生活の様子や将来の希望などを把握し、計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の概要

調査地域	目黒区内（施設入所者（区内・区外）を含む）	
抽出の基準日	令和7年8月1日	
抽出方法	無作為抽出	
調査対象者	18歳以上の身体障害者、知的障害者、精神障害者で障害に関する手帳を所持している方及び難病患者の方	児童発達支援や放課後等デイサービスなどの福祉サービスを利用している、もしくは障害に関する手帳を所持している18歳未満の児童の保護者
調査の種類	18歳以上の方（音声コード付き） 知的障害者はわかりやすい版	児童（18歳未満）の保護者
調査方法	調査は、郵送による調査票の送付 回答は、郵送又はWebフォームによる回収	
調査期間	令和7年9月1日～10月3日	

## 3. 調査の種類と回収状況

	調査対象 (A)	有効回収数			回収率 (B/A)	
		郵送	Web	合計 (B)		
18歳以上	身体障害者	1,258	553	213	766	60.9%
	視覚障害者	109	38	20	58	53.2%
	知的障害者	376	189	47	236	62.8%
	精神障害者	1,111	301	275	576	51.8%
	難病患者	324	137	62	199	61.4%
小計	3,178	1,218	617	1,835	57.7%	
児童（18歳未満）の保護者	453	113	137	250	55.2%	
合計	3,631	1,331	754	2,085	57.4%	

#### 4. 報告書を見る際の注意事項

- 調査結果（図表中）の割合は、その設問への回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答数を基数として算出している。したがって、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合がある。省略していない選択肢は『第4章 資料 調査票』を参照すること。
- 各設問に対する調査結果の表中、回答数の多い1位と2位を網掛けし、さらに1位は太文字かつ下線で表している。なお、1位が複数ある場合には、2位の表示は行っていない。
- 表中の上段は回答者数、下段は割合（%）である。

1位2位の表示例

	回答者数	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
<b>【全体】</b>	170	<b>48</b>	39	22	20	19	17
	100.0	<b>28.2</b>	22.9	12.9	11.8	11.2	10.0
身体障害	134	<b>39</b>	<b>39</b>	19	16	13	13
	100.0	<b>29.1</b>	<b>29.1</b>	14.2	11.9	9.7	9.7

- 割合を示す表記については、割合の1の位及び小数点第1位の値に応じて、下記のとおり表記を変えている。  
例えば、調査結果が50.6%であった場合は「約5割」、57.2%であった場合は「6割近く」と表記している。

割合を示す表記

範囲	0.0~0.4%	0.5~0.9%	1.0~3.9%	4.0~6.4%	6.5~8.9%	9.0~9.4%	9.5~9.9%
表記	○割	約○割	○割を超え	○割半ば	○割近く	約○割	○割

- 年齢層を示す表記については、各年代を下記のとおり表記を変えている。

年齢層を示す表記

年代	18~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
表記	若年者層	中高年者層	前期高齢者	後期高齢者
			高年齢者層	

## 5. 標本誤差について

- この調査の結果を見る場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また「回答比率が低いほど大きく」なる。この標本誤差は統計学的に、以下の式によって算出できる。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

- 例えば、「お答えいただくのは、どなたですか」という質問に、1,835 人が答えており、そのうち 80.3%が「宛名のご本人（代筆を含む）」と回答した。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{0.803(1-0.803)}{1835}} \approx \pm 0.0186$$

- したがって、80.3%の±1.86%（78.44～82.16%）が誤差の範囲内となる。つまり、この質問においては、1,835 人のうち、78.44～82.16%が「宛名のご本人（代筆を含む）」と回答したことになる。

比率 基礎 (n)	95% または 5%	90% または 10%	80% または 20%	70% または 30%	60% または 40%	50%
1,835	±1.02%	±1.40%	±1.87%	±2.14%	±2.29%	±2.33%